

会議名	平成 23 年度 総会(第一回 全体会)	<input checked="" type="checkbox"/> 全体会 <input type="checkbox"/> ブロック会 <input type="checkbox"/> 執行部会
開催日	平成 23 年 5 月 13 日(金) 13:10 ~ 17:00	
場所	神奈川近代文学館	
参加者	<p>北ブロック:青葉の丘、アクアピア新百合、ウエルケア新吉田、荏田あすなろ、神奈川苑、希望の森、老健リハビリ よこはま、グリーンヒルズ相模原、ケアガーデン相模湖、幸正の苑、相模大野、川崎社会保険(サンビュー川 崎)、シオンよこはま、しょうじゅの里大和、たかつ、ナーシングプラザ港北、ハートケア左近山、ハートフル瀬谷、ヒ ルトップ池辺、ファイン新横浜、ほほえみの郷横浜、牧野ケアセンター、三田あすみの丘、遊花園、横浜シルバー プラザ、よみうりランドケアセンター、リハセンターさわやか、リハリゾートわかたけ、レストア川崎(29 施設 35 名)</p> <p>南ブロック:ガーデニア・ごしょみ、鎌倉幸寿苑、かまくらしるばーほーむ、ケアパーク湘南台、けいあいの郷西谷、 港南あおぞら、コスモス、湘南グリーン葉山、スカイ、すこやか、千の星・よこはま、ソフィア横浜、なぎさ、ぬかだ、 野比苑、ハートケア横浜、ハートケア横浜小雀、ひとりざわ、藤沢ケアセンター、ほのぼの、ユトリウム、リハパーク 舞岡(22 施設 28 名)</p> <p>西ブロック:あじさいの郷、アゼリア、ききょう苑、ケアパーク茅ヶ崎、済生会湘南苑、サンライズ箱根、神恵苑、にじ の丘足柄、ニューライフ湯河原、ふれあいの丘、ふれあいの渚、ほほえみの丘、わかば(12 施設 12 名)</p> <p style="text-align: right;">以上 63 施設 75 名 記録者:園田</p>	
内容	<p>司会:副部会長 内田氏(ウエルケア新吉田)</p> <p>1. 部会長挨拶</p> <p>2. 総会</p> <p>Ⅰ. 平成 22 年度事業報告・会計報告(詳細は別紙参照)</p> <p>①全体報告 部会長 根本氏(ニューライフ湯河原)</p> <p>②会計報告 全体会計 渡邊氏(スカイ)</p> <p>Ⅱ. 平成 23 年度ブロック編成について(別紙圏域図参照)</p> <p>北ブロックに施設が集中していることと、各施設間の実際の連携の状況を鑑みて、ブロックの再編成を 行った。これにより、各ブロックが 55 施設ずつとなる。</p> <p>Ⅲ. 平成 23 年度執行部改正案</p> <p>Ⅳ. 執行部三役紹介</p> <p>Ⅴ. 平成 23 年度事業計画・予算案(詳細は別紙参照)</p> <p>①全体計画 部会長 根本氏(ニューライフ湯河原)</p> <p>②ブロック会計画 北ブロック長 小森氏(たかつ)</p> <p>南ブロック長 小林氏(ユトリウム)</p> <p>西ブロック長 磯部氏(ききょう苑)</p>	

内容

③予算案 全体会計 渡邊氏(スカイ)

いずれも各担当者が配布資料の読み上げ及び詳細解説を行い、全ての議案は拍手多数により承認を得た。

VI. 事業者情報案内

北ブロック独自の取り組みであったものを県全体に広げていきたい。

詳細は後日各施設宛に案内を送信

VII. レクリエーション案内

7月24日:バーベキュー(野島公園)

2月:スキー

3. 休憩

4. 講演:「R4システムについて」

演者:介護老人保健施設六合つつじ荘 折茂賢一郎 様

介護老人保健施設若宮苑 安藤繁 様

【折茂先生講演】

- ・ 挨拶

本題に入る前に・・・

- 東日本大震災での女川町立病院・老健支援から思うこと

折茂先生は大震災後、3回女川に入って診療活動に従事

被災地に身を置いたことで医療・介護・福祉職として望まれることは何であるかを考えた。

- ◎ 超災害の時に地域でケアマネに望まれるものとは、「可能な限りの救命・避難誘導活動」である

1. 自らの命の確保と家族の安否の確認
2. 自らの無事を家族や仲間に伝える
3. 仲間や職員らの安否確認
4. 利用者の安否の確認
5. ライフラインの確保
6. 生存者の状況確認
7. 残存した社会資源の把握と活性化への働きかけ
8. 廃用症候群予防のための活動
9. 市町村行政・医療機関との連携
10. 自らの疲弊の解消方法の模索

ここより本題に入る。

- 「R4システムの概要 ～ICFレベルアセスメント ～ケアプラン」

内容

- ・R4には入所バージョンと通所バージョンがある
- ・決して「アセスメントツール」ではない。「老健が老健らしくあるため」のマネジメント方式である。
病院⇄老健、地域⇄老健、看取りなど、その人の「目的」に合わせたケアマネジメントがなされるべき。
- ・R4では各職種でアセスメントが可能。
- ・インテークを実施した日から暫定ケアプランを作成
⇒入所日に転倒などの事故の予防を図ることができ、リスクマネジメントの観点からも有効である。
- ・モニタリングに関しても各職種による専門的見地から実施ができる。
(以下、レジュメに即して解説。時間配分により、全部は解説せず。)

【安藤先生講演とグループワーク】

●インテークとA-1、A-2の概説 ～主に支援相談員向けに～

◎グループワークに入る前にレジュメに沿って解説を行う。

- ・ インテーク時に把握した、利用者の老健の利用目的を中心に考え、ADLアセスメントはその際の補助的な役割を担う、という全人的なかかわりを持つこと老健スタッフの共通認識としたい(P12)。
- ・ 「インテークのねらい」から抽出される6つの有意点は、R4のA1、A2シートで網羅されている(P16)。

◎ グループワークでは、3人一組のグループを作って30分間でアセスメントシートを埋めて暫定プランを作成するまでを行う。

◎ 実施前に留意点をレジュメに沿って説明

①アセスメントシート(A-1、A-2)の読み込み

②シートの内容に基づいて、各グループ内で基本動作、歩行移動、認知機能、嚥下機能、食事動作、排泄動作、入浴動作、整容の各スケールのレベルを判断し、記入し、暫定プランを作成。

③各グループのスケール評価の内容を挙手により確認

④事例は実際の事例とすることで、実際にアセスメントをした職員が評価した内容を伝える

【ポイント】

- ・リスクマネジメントの一環として、評価に悩んだらレベルを低めに評価しておく
- ・A-2 インテーク:適性アセスメント・シートの4認知機能-aオリエンテーションとc精神活動の項目は、キャパシティで評価すべき項目

※実際に本人と会ってきた職員の評価と会場のグループワーク参加者との評価との間に概ね大きな乖離はなかった。唯一、「5b 食事動作」の項目のみ評価のレベルに大きく差があった。

会場では4であったが、実際に食事の様子を見た職員は2と判断している。病院では、本人にとって合わない自助具を使用して食事摂取をしていることに着目し、入所後に評価実施が必要であるという意味も込め、敢えて低いレベルで評価をしたとのこと。

⑤作成したプランの発表

- ・時間の制約があり1グループのみ

根本部会長が発表

アセスメントシートの記載内容からリスクとして主に挙げられるのは、重要な薬を服用していることから全身状態の管理が必要である点と、筋緊張が強いため、転倒・転落の注意が必要である点の2点。

<p>内容</p>	<p>目標として掲げたのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子自操レベルを目指す ・移乗能力の保持 ・立位保持能力の向上 <p>【安藤先生の解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私がみなくては」という土地柄 ・転落のリスクに対しては、低床ベッドで対応した ・薬の検討に入った <p>【質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問者なし <p>【プロジェクターを用いて R4の実演を交えた説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各入力画面の説明を行った ・組織での導入に至らなくても、支援相談員としてのツールとしては有効である。 <p>【今後開催の R4の研修会の案内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年は 5 回開催を予定。うち岩手は震災の影響により中止となっている ・11 月 18 日開催の愛知での研修では「中級コース」を予定していて、より深い内容を扱う。 <p>【質疑応答】</p> <p>Q: 暫定ケアプランは誰がつくるのですか？</p> <p>A: 判定会場で出席している全員で作成する</p> <p>Q: プランはケアマネジャーが作る必要があるのですか？</p> <p>A: 暫定プランについては全職種の氏名の記載があるので、作成者については問わない。説明者がサインさえもらえば短期集中リハビリテーション実施加算もその日から算定できる。</p> <p>【次の R4システムのバージョンアップの案内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の改定を待って実施予定 <p>5. 部会長挨拶</p> <p>6. 事務連絡</p> <p>7. 懇親会案内</p> <p>以上</p>
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

